Press Release　　東洋学園大学

報道関係者各位　　2026 年 11 月 20 日

本部：東京都文京区本郷 1-26-3　理事長：愛知太郎

学校法人東洋学園創立 100 周年の節目に誕生
2027 年 4 月に「国際共創学部」を開設
語学に加え AI・メディア・観光を横断し、「違いを超えて共に創る力」を育てる

東洋学園大学（学校法人東洋学園　本部：文京区本郷　理事長：愛知太郎）は、2027 年 4 月、「国際共創学部　現代コミュニケーション学科」を開設します。コンセプトは「違いを超えて、人をつなぎ、共に創る力を。」です。学校法人東洋学園は 2026 年に創立 100 周年を迎えました。国際共創学部は、東洋学園大学が推進する 2030 年に向けた大学改革の基本構想「TOGAKU IMPACT 2030」に沿って、現在のグローバル・コミュニケーション学部を改組して開設する新学部です。なお、同学部は文部科学省より「登録日本語教員養成機関」として登録され、開設と同時に養成課程を始めます。

「語学を学ぶ」から「違いを超えて共に創る」へ



■語学力の先にある「協働する力」

仕事でも地域でも、国や文化、専門分野の異なる人と一緒に課題に取り組む場面が増えています。求められるのは語学力だけではありません。相手の考えを理解し、AI やメディアも使いながら、仲間と新しい価値を形にする力です。国際共創学部は、グローバル・コミュニケーション学部で培った語学教育と課題解決型学習（PBL）を土台に、学びの領域を言語・メディア・観光・国際共創の 4 分野へ広げます。

■国際共創学部の学び：3 つの特長と 4 つのコース

- **共創プログラム**：1 つの教室で 2 人の教員が教える科目を新設。企業や地域と連携し、実際の社会課題の解決に仲間と取り組みます。
- **グローバル PBL**：韓国やタイの学生との交流、国内外での現地調査、NGO・自治体・企業の活動体験を通じて、学生が自分の関心を見つけます。
- **多彩な語学教育**：英語・韓国語・中国語を、少人数クラスでの英語母語話者による指導と AI・オンライン教材を組み合わせて段階的に学びます。

4 つのコース

コース	キーワード	学びの内容
言語・コミュニケーション	心	英語・韓国語・中国語・日本語を深く学び、相手の意図をくみ取り思いを伝える力を養う
クリエイティブ・メディアコミュニケーション	作品	メディア、アートコンテンツ制作、物語分析などを学び、AI も活用して発信力と表現力を磨く
観光交流文化	人	ホテルや空港での研修、アジアの最新事例の体験を通じ、観光と文化交流を学ぶ
国際共創	世界	企業や NGO と連携した社会体験を通じ、世界と地域をつなぐ人材を育てる

これまでの学びでは、韓国での現地インタビュー、モンゴルの若者文化の調査、羽田空港での航空業界の取材、生成 AI を使ったコンテンツ制作など、学生自身の「好き」を出発点にしたプロジェクトが生まれています。あわせて、2 年次修了までに全学生が TOEIC など所定の資格を取得できるよう支援します。

■日本語を教える国家資格を目指せる課程も開始

国際共創学部は、文部科学省より「令和 8 年度第 1 回 登録日本語教員養成機関」として登録され、2027 年 4 月 1 日から、登録日本語教員養成課程を開始します。「登録日本語教員」は、外国人などに日本語を教えるための国家資格です。本課程と、登録実践研修機関での実践研修を修了し、国家試験「日本語教員試験」の応用試験に合格したうえで登録を申請すると、文部科学省に「登録日本語教員」として登録されます（基礎試験は免除）。

■東洋学園大学 学長 辻中豊 コメント

「大学は答えを与える場所ではなく、問いを見つける場所でなければなりません。本学が目指すのは『東京にある大学』ではなく『東京で学ぶことに意味がある大学』です。創立 100 周年という節目に誕生する国際共創学部で、学生一人ひとりが社会との出会いを通して成長し、自信を持って未来へ歩み出すことを期待しています。」

■国際共創学部 概要

項目	内容
名称	国際共創学部 現代コミュニケーション学科
開設時期	2027 年 4 月
入学定員	150 名
所在地	東京・本郷キャンパス（東京都文京区本郷 1-26-3）
目指せる資格	登録日本語教員（国家資格）、旅行業務取扱管理者、全国通訳案内士、TOEIC、TOPIK（韓国語）、HSK（中国語）など
詳細	東洋学園大学 受験生サイト 国際共創学部 https://life.tyg.jp/faculty/global_innovation_and_collaboration/index.html

＊本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先＊
東洋学園大学 広報室 （担当：清水）
電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-1964 e-mail:koho@of.tyg.jp https://www.tyg.jp/